

平成 27 年度第 5 回湖南省総合計画審議会

議事要約

日 時	: 平成 27 年 9 月 24 日 (木) 午後 2 時～ 4 時
場 所	: 共同福祉施設 2 階 大会議室
出席者	: 委員 14 名
欠席者	: 11 名

1. 開会 (事務局)

第 5 回湖南省総合計画審議会を開会する。
過半数以上である 14 名の出席を得ており、成立。

2. 会長あいさつ (要旨)

皆様、今回が最後の審議会になる。多くの意見をいただき、計画策定を進めてきた。本格的な人口減少下において、市民と行政が今まで以上に積極的な協働が重要な課題になっている。今まで議論してきた総合計画を大切に、湖南省のまちづくりが進められる事を願っている。最後の審議会であるため、積極的に意見をだしてもらい、計画を豊かなものにしていきたい。よろしく願います。

3. 審議

1) 基本計画第 7 章および目標指標について

(事務局より資料説明) (省略)

意見交換

●会長

総合計画の第 7 章と総合戦略について事務局から説明があった。意見を伺いたい。内容が多岐にわたり、わかりにくい部分もあった。質問はないか。どこからでもかまわない。

今まで総合計画の審議をしてきた。湖南省の総合戦略案は総合計画案を基本的に踏襲してきた案として理解してよいのか。

●事務局

総合戦略は国が全国の自治体に策定するように指導している。第二次総合計画の策定期が重なった。総合計画の第 7 章が総合戦略を踏襲しており、計画の一部として総合戦略を取り入れていきたい。

●会長

第 1 章から 6 章に記載していることを、国の総合戦略のフォーマットにしたがって再整備したと考えてよいのか。

●事務局

おっしゃるとおりである。

●会長

総合計画の第7章にKPIを再度載せるのはどうか。

●事務局

第7章の目標指標は、第1章から6章の指標と重なっているものもある。まち・ひと・しごとで特化したものを第7章としてまとめている。

●会長

国に指標を出すのはよいが、市の総合計画として第7章に重なって指標を載せるのはおかしい気がする。

●事務局

総合計画としては、特に必要ないため再度整理する。

●会長

質問はないか。

●委員

目標の数値化ができたことと、市民主体の活動が大切であるため取り組みを盛り込んだことがわかった。

資料3の22頁あたり、働く場の創出プランの中で障がい者雇用の目標数値が出てこない理由を教えてほしい。湖南省役所は障がい者雇用率を満たしていないと聞いている。

市民主体の活動が大切だが、行政のモデル的活動も大切だと思うが、どうか。

●事務局

総合計画は一番おおもとの計画であり、その下に個別の計画を策定している。障がい者の雇用については、湖南省就労支援計画があり、数値目標を設定し進めている。

湖南省が市民と一体となってまちづくりを進める事業については、市民の提案を受けながら、湖南省のモデル的なものが全国に発信できればと考えている。

●委員

総合計画は、市民に公表するものか。国に報告するものか。

総合計画の208頁「1 産業力の強化」の中には農林業については書かれていないが、総合戦略の12頁には農林業を含めて書かれている。総合計画には記載しなくてよいのか。

●事務局

総合計画は湖南省独自の計画で国には提出しない。市民にホームページ等で公表する。

第7章の208頁については、農林業も含めて産業として掲載している。

●会長

第7章は1章から6章までの書き直しの部分である。第3章で既に、産業には農林業の振興を視野に入れており、計画としては問題ない。産業というと工業という捉え方をして

しまう方もいる。表現上の問題である。気になるようであれば、修正した方がよい。

●委員

総合計画とはもともになる計画で、その下に個別の計画があると理解した。総合計画に記載されている目標指標は、個々の計画で達成するということか。

●事務局

第7章の目標指標は、総合戦略の指標と一致している。

●委員

第7章の指標で、出生数を「2,006人」から「2,264人」に上げるための施策として有効な手立ては考えているのか。

●事務局

出生数については、人口ビジョンで示しているように国の水準にあわせて推計している。出生率は、湖南省だけできるところではないが、総合戦略の32頁にあるように、市としては婚活や妊活支援に取り組んでいきたいと考えている。

●委員

財政的に可能かは別にして、不妊治療費の補助、子どもの医療の無料化などにより湖南省での子育てにはお金がかからない、子育てしやすい湖南省とならなければ、わざわざ住んでもらうのは難しいのではないかと聞いている。若い世代を他市と取り合いになった時には、湖南省に住むメリットがはっきりしているとよい。

●事務局

若い人をいかに取り込むか、自治体同士の競争になる。転出転入の理由に、子どもの医療の無料化の効果が少ないと聞いている。湖南省のメリット・良さをPRしないと聞いている。湖南省での子育てメリットについては、個別計画の中で打ち出していく。

●委員

各小学校の空き教室が増える。若い人が移住してきたら、固定資産税を減税するなど住みやすくしてはどうか。学校も新しく建設する必要もない。湖南省は人手が不足していて、企業を誘致しても人が集まらなると聞いている。湖南省に住む特典が必要ではないか。

観光については、案内板が不親切であり、宣伝が下手である。

●事務局

空家の活用という考え方で、転入してもらうために湖南省の魅力を出していかなければならない。市としても積極的に取り組みたいと考えている。

観光については、湖南省に来て何もなかったと思われないように、PRと合わせて受け皿をしっかり整備したい。再び訪れたいと思ってもらえるようにしたい。

湖南省も子どもが減るため、空き教室については行政の課題として考えている。

●委員

産業力の強化については、工業団地ができた時と今とは元気さに差がある。どういう業種が元気なのか、もっと企業と話し合う機会が必要である。

湖南省市を先進地として来てもらうことがどれだけあるのか。「ゆらら」は、夏休みに静岡、広島等の地方から来てもらっている。「ゆらら」を改良したいが、市の所有でできない。周辺の施設の整備も必要である。若狭町はがんばっている。湖南省市の観光案内板、ゆらら等の案内看板があるとよい。

若者の定着の問題は、働く所がないから他所へ行くということがないようにしたい。行政と民間と話し合う場を持ってなんとかしていきたい。

●事務局

産業力の強化では、湖南省市に新しい企業が育っていくとよいと考えている。

まちづくりの先進地研修については、市民活動をホームページに掲載してもらえると全国からの視察が増える。地域まちづくり協議会等について県外から視察にきてもらっている。地域まちづくり協議会等と観光の部分もあわせてPRしていきたい。

●会長

意見を伺った。異議がないようなので、第二次湖南省市総合計画案について当審議会で決定し答申したい。私と副会長が審議会代表して市長に答申したい。どうも5回にわたる審議ありがとうございました。

4. その他

●事務局

今後の予定について、会長・副会長から9月30日の14時から市長に答申したい。10月6日からパブリックコメントを1か月間実施し、12月議会に上程する。3月末までには印刷していきたい。平成28年4月から第二次総合計画に基づいて市政を運営していく。

5. 閉会

●事務局

第二次湖南省市総合計画案を御決定いただきありがとうございました。時代の大きな転換期に、第一次総合計画の成果を着実に次につなげていくと同時に、意見を踏まえながら、市民がずっと暮らしたいと実感してもらえるよう、市民、事業者、行政が手を携えてまちづくりに取り組んでいきたい。これからも力添えをお願いしたい。

●副会長

5回にわたった審議会をありがとうございました。皆さんの活発な意見を聞き、湖南省市への熱い思いを感じた。自分たちが暮らすまちを良くしていこうという思いが詰まった総合計画に基づき、きらめく湖南省市に向かってまちづくりが進められることを願っている。

●事務局

第5回審議会を閉会する。ありがとうございました。

以上